

平成29年度『農林漁家民泊研修会』を開催しました！



【近畿農政局地方参事官 講演】



【トークセッション】

1. 趣旨

近年、都市住民を中心として地域の自然や文化、農山漁村の生活を身近に体験できる交流への関心が高まっています。

なかでも、農林漁家民泊では地元の食材を使った郷土料理づくり、田植えや間伐、地引き網などの体験の機会の提供を通じ、都市住民との交流により地域の活性化につなげていくことが期待されています。

本研修会は、農林漁家民泊に関する知識や運営能力の向上を目的に開催しました。

2. 日時・場所

日時：平成30年3月15日（木）13：30～16：30

場所：和歌山県自治会館 2階 会議室

3. 参加者数

農林漁家民泊実践者・開設希望者、行政関係者等 約60名

4. 研修内容

近畿農政局地方参事官 村上 義明氏による「農泊の推進について」の講演がありました。その後、和歌山大学観光学部学部長の藤田 武弘氏をコーディネーターとして、パネリストに日高川町役場企画政策課定住促進室 ゆめ倶楽部 21 事務局の直川 裕子氏、紀美野町の「みさとふれあい自然塾」の梶本 敏秀氏、那智勝浦町の「農家民泊 Jugemu」を運営する壽海 真也氏及び会場の出席者にも参加いただき、「農林漁家民泊、農泊を中心とした地域活性化の可能性」についてトークセッションを行いました。

また、県食品・生活衛生課より「住宅宿泊事業法（民泊新法）」の情報提供を行いました。

最後に、「これからの農林漁家民泊の運営」について参加者でグループディスカッションを行いました。農家民泊実践者から開設希望者に対し、組織作りや運営のアドバイスがあり、活発な意見交換が行われました。